

令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立大磯中学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	・表現の効果について、根拠を明確にして考えたり、文章全体と部分との関係に注意しつつ、登場人物の設定の仕方を捉えたりする等の習得は良好である。	・読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみるという問題については課題が見られる。
数学	・「数と式」では、文字を用いた式で数量を過不足なく表現すること、「図形」では、基本的な公式の適用や、証明における前提と結論の把握、論理の組み立てといった基礎的内容等の習得は良好である。	・「データの活用」領域が全国平均と比べて低い状況にある。特に、相対度数の意味の理解不足や、不確定な事象の起こりやすさの傾向を正確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力に課題が見られる。
理科	・分野関係なく、元素記号を答える問題や、電気回路を選択するような基本的な知識が必要な問題は高い正答率が見られる。	・考察を確かなものにするための実験を考えたり、身近な生活に結び付けたりするなど、知識や考えを応用するような課題解決能力に課題が見られる。
質問紙	・生活習慣や読書習慣といった側面では良好な傾向が見られる。 ・タブレット端末の活用には慣れており、本校のICTを用いた取組は進んでいることが伺える。	・学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めているかという問いに対し、「そう思う」と回答した割合が、県や国と比べ10ポイント以上低い。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・学習面では、生徒自身が授業で学んだことを、次の学びや実際の生活上の課題等に活かしたいと思えるような授業づくりを学校全体で目指していきます。 ・生活面では、生徒一人ひとりの良いところを積極的に価値づけし、自己肯定感を高めるとともに、仲間と共に活動したり助け合ったりする機会を増やしていきます。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、1人1台端末の利活用を通じて、生徒に情報リテラシーが身に付くよう指導を行っておりますので、ご家庭においても、お子様がパソコン（スマートフォン）等を利用する際には、利用時間等を含め必要な声かけ等お願いいたします。
